



2017年4月28日

静岡市との『地方創生に係る包括的業務連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」は、地域の持続的な発展のため、人口減少を喫緊の課題とし、地方創生を推進する静岡市（市長：田辺 信宏）と『地方創生に関する包括連携協定』を4月27日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・静岡市は2025年の総人口70万人維持の実現に向けて、「これから生まれてくる市民」、「これから移住してくる市民」、「これからも住み続ける市民」を「未来市民」と総称し、未来市民を増やすために静岡市独自の地方創生に取り組んでいます。
- ・損保ジャパン日本興亜は、地域と産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、市民サービスの向上と地域活性化に貢献するため、静岡市に地方創生に関する包括的な連携について提案し、このたび協定の締結に至ったものです。

2. 協定の目的

静岡市と損保ジャパン日本興亜が密接に連携・協力し、双方の資源を有効に活用した協働を推進することにより、喫緊の課題である人口減少を克服し、地方創生の実現を図ることを目的としています。

3. 協定の主な内容

- (1) 地域の防災・減災活動に関すること
- (2) 安心・安全なまちづくり支援に関すること
- (3) 地域産業の振興、中小企業の支援に関すること
- (4) 健康増進、高齢者・障害のある方への支援に関すること
- (5) 女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスに関すること
- (6) 子ども・青少年の育成支援に関すること
- (7) その他、地方創生の推進に関すること

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携しながら、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上